

協和キリングroup 行動規範

序章

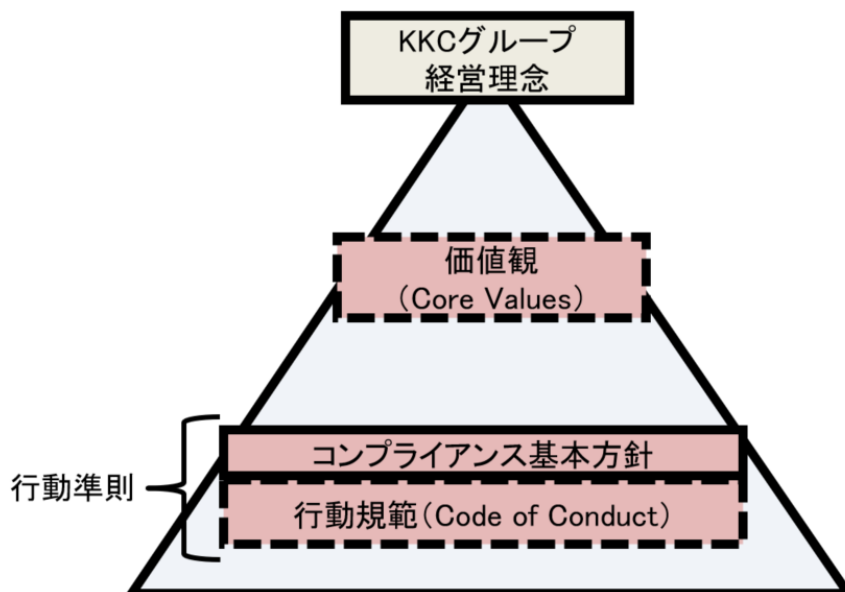
1. 本行動規範の位置づけ

企業は、公正な競争を通じた新しい価値の創造により、広く社会にとって有用な存在であることが求められています。私たち協和キリングroup(以下、「当社グループ」)は、経営理念を実現するために、当社グループの価値観に基づき高い倫理観をもって行動し、社会から信頼される企業グループを目指します。

当社グループは、事業活動において役員および従業員一人ひとりが守るべき行動準則として、コンプライアンス基本方針と同方針の具体的な行動を補足説明する本行動規範を定めました。

本行動規範は、当社グループ共通の、法令、社内外の諸規則および社会規範を遵守し法的責任と社会が求める倫理的責任を果たすための行動を定めています。

当社グループにおけるコンプライアンスとは、当社グループの事業活動に関して役員および従業員一人ひとりが社会的要請に誠実に応え倫理的に行動するために守ること、を言います。



<参考>

経営理念

「協和キリングroupは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。」

価値観

“Commitment to Life”

- この地球上で最も大切な存在のために働こう。
- 患者さん、患者さんを介護する人、医療従事者、そしてお客様のために価値を創造しよう。

Key words

“Integrity”

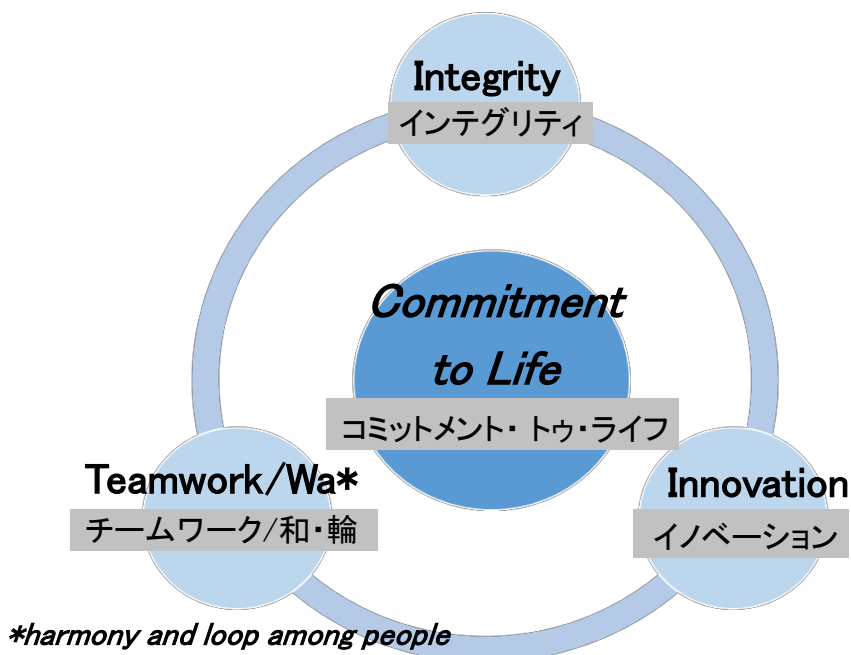
- 正しいことをしよう。一貫して誠実で倫理的であろう。
- 公正な事業運営を通じて、より良い世の中を造ろう。

“Innovation”

- 情熱を持ち、楽しみながら、生活を変革しよう。
- 全ての業務において、現状維持を良しとせずチャレンジしよう。

“Teamwork/Wa”

- ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン。多様性のあるチームで働き、お互いに尊重しよう。
- 組織の枠を超えよう、そしてステークホルダーと連携しよう。



2. 本行動規範の適用範囲と逸脱時の対応

本行動規範は、当社グループで働くすべての役員・従業員一人ひとりに適用されます。

当社グループは、役員および従業員の行動が本行動規範を逸脱していると判断した場合、当社グループ各社の所定の規則に基づき必要な対応をとります。

3. 疑問・懸念の提起

私たちは、とるべき行動が分からないときあるいは何かおかしいと感じるとき、疑問や懸念を提起することが私たちの大事な責任の一つであると考えます。

- 1) 私たちは、上長または適切な部署に相談し、指示や指導、助言や説明を受けます。
- 2) 私たちは、本行動規範の逸脱やその他違法または不当な行為を知ったときは、速やかに上長または適切な部署または窓口に報告します。
- 3) 私たちは、各社内での解決が難しいと判断した場合に、社外に設置したグループコンプライアンスラインを通じて、当社グループ本社に報告します。

(詳細は以下のサイトを参照ください。)

協和キリングroupコンプライアンスライン :

<https://ml.helpline.jp/kyowakirin-complianceline/>

4. 報復の禁止

当社グループは、コンプライアンス上の懸念につき、それを提起した者、提起を受けた者、提起に基づき調査を行う者あるいはその調査に協力した者などに対する、報復行為、脅迫行為および不利益な取扱いを固く禁止します。

第1章 社会との関係

私たちは、社会のよき一員として、すべてのステークホルダーと良好な関係を築きます。

私たちは、様々なステークホルダーと連携し新しい価値の創造に努めます。

1) 高品質の維持に努め、お客様に満足いただける製商品・サービスを提供します。

原料の調達から製商品の研究・開発・製造・物流・販売後にいたるすべての活動において、

- ①私たちは、安全性確保を最優先とし、お客様からの安心と社会からの信頼獲得に努めます。
- ②私たちは、適正なデータの取扱いと科学的厳正さを確保します。

2) お客様、株主、投資家、従業員、取引先、コミュニティ、行政、その他私たちの事業における関係者と、適法かつ健全な関係を維持します。

- ①私たちは、事業活動において社内外からの不法、不当な要求には一切応じません。
- ②私たちは、贈収賄、不当な利益供与、違法な政治献金、その他の腐敗行為を認めません。
- ③私たちは、犯罪に関与する組織とは一切関係を持ちません。

3) 関係各国および地域の経済・社会・文化習慣等を尊重し、地域社会との調和を図ります。

- ①私たちは、事業活動を行う国および地域の法令等に誠実に従います。
- ②私たちは、事業活動を行う国および地域の皆様とのコミュニケーションを通じて相互理解に努めます。
- ③私たちは、事業活動を行う国および地域社会の一員として行動します。

第2章 従業員との関係

私たちは、各自の人間性を尊重し、働きやすい職場環境の維持に努めます。

1) 多様な背景を持つ人たち(*1)が、自らの持つ能力を発揮できる職場と機会を提供します。

- ①私たちは、自由闊達に自分の考えを表現できる職場風土の醸成に努めます。
- ②私たちは、仕事と個人の生活の調和に資する職場を目指します。
- ③私たちは、人々がハラスメントや差別なく、互いに尊重し合う職場を目指します。
- ④私たちは、お互いに切磋琢磨し、ともに能力を高めるよう努めます。
- ⑤私たちは、お互いに連携し、力を合せて目標達成を目指します。
- ⑥私たちは、公正な評価を尊重し、多様な人財を育成します。

*1 “多様な背景”の例:性別、年齢、国籍、言語、障害の有無、介護の有無、既婚／未婚、子供の有無、宗教など。ただし、ここに例示されたものに限られません。

2) 常に安全な職場環境を維持します。

- ①私たちは、労働環境に関する法令を遵守し、安全確保に継続して取り組みます。
- ②私たちは、労働災害を防止する活動を継続的に行います。
- ③私たちは、職場における危険、暴力、秩序を乱す行為を許しません。

3) 従業員の心身の健康が図られる職場環境を整備します。

- ①私たちは、薬物を違法に使用しません。
- ②私たちは、中毒性をもつ物質を摂取し、職務・職場環境に影響を及ぼすことをしません。
- ③私たちは、職務遂行できるように心身の健康維持に努めます。

第3章 ルールの遵守

私たちは、社会のルールを守り、誠実に高い倫理観を持って行動します。

1) 法令や社内外のルールを遵守し、知識の更新に努めます。

- ①私たちは、法令や社内外のルールを逸脱した行為により得られる利益を求めません。
- ②私たちは、会社財産を私的に利用したり、不適切に経費を使用したりしません。
- ③私たちは、業務に関係する重要な法改正などのルール変更を積極的に情報収集します。

2) 公正な競争かつ誠実な事業活動を行います。

- ①私たちは、各国の競争法に則り、公正・透明で自由な競争と取引を行います。
- ②私たちは、寄附を行う場合に見返りを求めません。
- ③私たちは、社会規範から逸脱するような不当な接待・贈答を行わず、また受けません。
- ④私たちは、会社の利益と相反する立場での就労および取引をしません。

3) 知的財産権を尊重します。

- ①私たちは、会社の知的財産を適切に利用します。
- ②私たちは、業務上得られた発明等を必要に応じて権利化し、その権利の保全に努めます。
- ③私たちは、他者の知的財産権に対する侵害行為を行いません。

第4章 人権尊重

私たちは、すべての人々の人権、人格を尊重します。

1) 人種・民族・国籍・社会的身分・性別・障害の有無・思想・信条、および職種や雇用形態の違い等に基づく差別を行いません。

2) 強制労働や不当な児童労働を認めません。

3) いかなるハラスメントも許しません。

①私たちは、当社グループの事業活動に関わるすべての人々に対して公正に接します。

②私たちは、ビジネスパートナーとの関係においても差別およびハラスメントを許しません。

③私たちは、不当な労働を行う取引先・パートナーとは関係を持ちません。

第5章 環境保全

私たちは、次世代に引き継ぐ地球環境保護に積極的に取り組みます。

1) 環境の保全、保護に積極的に取り組み、資源循環を促進します。

私たちは、原料の調達から製商品の研究・開発・製造・物流・販売後にいたるすべての活動において、環境への配慮に努めます。

①私たちは、環境への負荷が少ない原材料、設備等を調達します。

②私たちは、原材料・エネルギー使用量の削減に努め、省資源化及び地球温暖化防止に貢献します。

③私たちは、廃棄物の発生量を抑制し、再資源化に取り組みます。

2) 環境に関するルールを尊重します。

私たちは、環境汚染と健康被害の防止に努めます。

①私たちは、環境への排出基準を遵守します。

②私たちは、廃棄物を適切に処理します。

③私たちは、化学物質を適正に取扱います。

第6章 情報管理

私たちは、私たちの事業に関する情報を適正に管理します。

1) 個人情報に適正に管理します。

2) 秘密情報を適正に管理します。

- ①私たちは、事業活動で入手した個人情報および秘密情報を業務目的外に使用しません。
- ②私たちは、事業活動で入手した個人情報および秘密情報が社外へ漏えいしないよう厳重に管理します。
- ③私たちは、社内文書の保管、廃棄および保全を法令、社内規程および手続きに則り行います。
- ④私たちは、会社の情報システム・コンピュータ(PC)などの電子機器および電子メールを社内ルールに従って安全に使用します。

3) インサイダー取引は行いません。

- ①私たちは、業務上自社または他社の未公表の重要事実を知った場合は、その重要事実が公表されるまで、他人への漏洩およびそれらの会社の株式・社債などの有価証券の売買を行いません。

4) ステークホルダーに対して適時・適切な情報開示を行います。

- ①私たちは、株主、投資家に対して、経営目標の達成に影響を与える情報を迅速かつ適切に開示します。
- ②私たちは、製商品に重篤な不具合が生じた場合迅速、誠実、公正に情報を開示します。
- ③私たちは、当社グループの取引、財務、その他の記録を正確、適時かつ十分に行います。
- ④私たちは、虚偽の、または誤解を招く記載は行いません。
- ⑤私たちは、訴訟や公的機関の調査を受けた場合には、関連する情報を適切に保全します。

以上